

スマートフォンやゲームを使うルールを考えよう

指導案・ワークシート製作
福岡教育大学 准教授 奥谷めぐみ

想定される対象

小学校3、4年生

想定される教科・場面

道徳、総合的な学習時間、学級活動(長期休暇前)など

配布物・準備物

- 配布物(★ワークシート、☆スマホ・ゲームのお約束キット)
- <可能な範囲での準備物>
- 掲示物(♡スマートフォン利用のルールに関するポスターなど)
- 情報共有ツール(○卓上ホワイトボードなど)

授業の目標

- スマートフォンやゲームの利用に際してトラブルを予防したり、一緒にいる人が快適に過ごしやすいようにルールがあることを知る
- 家庭の環境や状況によって、ルールの作り方や内容が変化することを理解する

時間	児童の活動	指導の際の留意事項	配布物・準備物
導入 (5分)	学校の中で場所やものを使うとき、どのようなルールがあるか、なぜそのルールがあるのか発表させる。	廊下の歩き方や掃除の仕方、遊具の使い方等、身近な例を挙げ、なぜルールが決められているか予想できるように支援する。	
	掲示物をもとに、スマートフォンやゲームについてもルールがあることで、安全で便利に利用できることを理解する。	歩きスマホによるトラブルやその影響について捉えられるように、掲示物などを用いながら、公共にルールがあることを示すことが望ましい。	♡ポスター
めあて スマートフォンやゲームを安全で、便利に使うためのルールをつくろう			
展開 (35分)	ワークシートのルール一覧を基に、どのようなルールがあるか調べさせる。	ルールには「時間」「使う場所や場面」「人とのかわり」「お金」の4種類があることを示す。	★ワークシート(項目1)
話し合い	グループ活動の形式になり「時間」「使う場所や場面」「人とのかわり」「お金」のルールのうち一つを選び、ルールの内容と理由を話し合わせる。	4種類のうち、グループによって作成するルールを指定するなどの工夫を取り入れると良い。クラス的环境などによっては一つのグループで2つ以上のルールを作っても構わない。	★ワークシート(項目2) ○卓上ホワイトボード
発表	各グループで作成したルールと理由を発表させる。ほかの児童はメモを取る。	他のグループの発表内容をメモするよう指示する。家庭や状況、人によって、同じ種類のルールでも内容や理由が変わることを確認する。	★ワークシート(項目3)
まとめ (5分)	ワークシートに自分なりのルールを書き込み、今日の学習の振り返りを行う。	「スマホ・ゲームのお約束キット」を配布し、メモを用いて家庭で話し合ってルールを作成するよう指示する。 ペナルティ(もしお約束を守れなかったら)は、家庭で話し合って決めるよう指示する。	★ワークシート(項目4) ☆スマホ・ゲームのお約束キット
		【授業外で】家庭に応じたルール作りができるよう、事前に家庭と連携しておく。	

スマートフォンやゲームのルールを考えよう

(学年 ^{がくねん} クラス ^{くらす})(名前 ^{なまえ})

めあて

1. プリント2ページ目の「スマホ・ゲームのお約束リスト」を読んで、スマートフォンやゲームにはどのようなルールがあるか調べよう。

ルールのしゅるいには、

- ①②のような()についてのルール
③のような()についてのルール
④のような()についてのルール
⑤のような()についてのルール があります。



2. グループでルールの種類から1つを選んで、「スマホ・ゲーム」のルールを作ろう。
それぞれのルールについて、なぜそのルールにしたのか理由も考えよう。

ルールのしゅるい	ルールのないよう
----------	----------

(このルールをつくった理由は…)

3. ほかのグループの発表を聞いて、メモを取ろう。

ルールのしゅるい	ルールのないよう	ルールをつくった理由

4. ルール作りの活動をとおして作ったメモをさんこうに、おうちの人と話合ってみよう。



スマホ・ゲームのお約束リスト

① ゲームの時間は

② 動画を見る時間は

③ 歩いたり自転車に乗りながらは使いません

④ スマホでうそ、悪口は書き込みません

⑤ スマホ・ゲームでお金を使うのは

⑥

⑦

おうちの人と作ったルールは、

「スマホ・ゲームのお約束キット」の「お約束リスト」に書きこもう。

【話し合いのポイント】

① ルールの内容だけではなく、その理由についても話し合おう

② おうちの人考えるルールとちがうときは、なぜちがうのかを話し合おう

③ ルールを守れなかった場合、なぜ守れなかったのかを考えよう



スマートフォンやゲームのルールを考えよう

(学年 ^{がくねん} クラス ^{くらす})(名前 ^{なまえ})

めあて スマートフォンを安全で、便利に使うためのルールをつくらう

1. プリント2ページ目の「スマホ・ゲームのお約束リスト」を読んで、スマートフォンやゲームにはどのようなルールがあるか調べよう。

ルールのしゅるいには、

- ①②のような(**時間**)についてのルール
- ③のような(**使う場面・場所**)についてのルール
- ④のような(**人とのかわり**)についてのルール
- ⑤のような(**おかね**)についてのルール があります。



2. グループでルールの種類から1つを選んで、「スマホ・ゲーム」のルールを作ろう。
それぞれのルールについて、なぜそのルールにしたのか理由も考えよう。

ルールのしゅるい おかね	ルールのないよう お金を使うときは親にそうだんします。
------------------------	---------------------------------------

このルールをつくった理由は…
自分だけで判断したら、おこづかいよりたくさんお金を使ってしまうかもしれないから

3. ほかのグループの発表を聞いて、メモを取ろう。

ルールのしゅるい	ルールのないよう	ルールをつくった理由
じかん	ゲームの時間は30分	ゲームをたくさんすると、宿題や家の仕事をする時間がなくなるから。

ルールのメモについて
児童の人数や、グループの数に応じて、すべてのグループのルールをメモするよりも、自分がルールを作るうえで、参考にしたいと思ったルールや理由をメモするように指示する。

4. ルール作りの活動をとおして作ったメモをさんこうに、おうちの人と話し合ってみよう。



スマホ・ゲームのお約束リスト

- ① ゲームの時間は
- ② 動画を見る時間は
- ③ 歩いたり自転車に乗り

おうちの人との話し合いについて

授業内で作成したメモを用いて、
おうちで話し合ってルールを作成するよう指示します。
(時間があれば授業の内容を踏まえて、
ルール作りの時間を作っても良いでしょう。)
家庭への協力を事前に依頼しておく、スムーズに
ルール作りの活動の意義が、家庭で共有できます。

- ④ スマホでうそ、悪口は書き込みません
- ⑤ スマホ・ゲームでお金を使うのは

⑥

⑦

おうちの人と作ったルールは、
「スマホ・ゲームのお約束キット」の「お約束リスト」に書きこもう。

【話し合いのポイント】

- ① ルールの内容だけではなく、その理由についても話し合おう
- ② おうちの人考えるルールとちがうときは、なぜちがうのかを話し合おう
- ③ ルールを守れなかった場合、なぜ守れなかったのかを考えよう

